

2-7

演題	あなたと向き合うための ICT
副題	～ともに過ごせる尊い時間～

ICT
業務改善

法人名	社会福祉法人 奉優会
施設名	特別養護老人ホームかわいの家

発表者名 (職種)	照川 仁志 相談員	都道府県	神奈川県
共同発表者	長瀬 敬子	住所	横浜市旭区川井宿町 69-1
共同発表者		TEL	045-954-4500
共同発表者		FAX	045-954-4499
共同発表者		メールアドレス	kawainoie@foryou.or.jp
共同発表者		URL	

今回の発表施設 またはサービスの 概要	横浜市旭区に平成 22 年 4 月開所のユニット型施設（本入居 90 名、SS 10 名）。 ユニットケアの手法を活用し、多職種で連携をとりながら、一人一人の尊厳を大切にしてい 個別ケア、あたりまえの生活を実現するべく取り組んでいます。
---------------------------	--

研究の目的、PR ポイント

介護業界の人材不足とうたわれ続けて、現場では業務に追われ、ご入居者と接する機会が減ってきてしまっている。そんな中、ICT を導入し、いかに作業効率を上げ、ご入居者と関われる時間を見出せないかという目的で取り組んでみました。

取り組んだ課題

現在の業務で負担となってしまうことを見直し、作業効率を上げる方法とそれを周知し施設全体で活用をするためにどのようにしたらいいのか。ICT を頼るところと人間が直接関わることを意識し、ご入居者の尊厳を守りながら個別ケア、自立支援に努めています。

具体的な取り組み

1. ケース記録の効率化
 - (1) タブレット端末の使い方を周知
 - (2) タブレット端末を活用し 1 ケア 1 入力
 - (3) いかに簡単に、確実に記録をするか
 - (4) ケース記録による残業時間を削減
2. 現状をより具体的に把握するために
 - (1) 伴走支援の導入
 - (2) 職員の行動分析
3. ICT 機器導入で得られた実績
 - (1) A 様の起床時間の見直し
 - (2) B 様の睡眠状況と介入の見直し

活動の成果と評価

1. ケース記録にタブレット端末の使用率
iPad 10% → 85%
iPod touch 5% → 74% に上昇
2. ケース記録による残業時間
効率化を試みた結果、記録による残業が半減した
3. 職員の行動分析結果
やるべきことをしっかりできていることがわかった反面、思わぬところで手がかかっていることもわかった。

今後の課題

- ・ 分析した職員の動きに対し、今後どのような ICT 機器を導入することでさらなる効率化を目指すか。
- ・ ICT を活用しての尊厳の保持、個別ケアの強化、いかにして QOL を向上させるか。

参考資料など

- ・ 総務省統計局「高齢者の人口」
- ・ 厚生労働省「介護サービス事業(施設サービス部)における生産性向上ガイドライン」